

≡ ひとりで悩まず相談を ≡

今月の
HOT
NEWS

ひきこもり相談窓口
「トモニ」を開設しました

東郷町役場の福祉課内に、専用の相談窓口「トモニ」が新規開設されました。

本人からの相談はもちろん、ご家族からの相談も受け付けています。

「トモニ」という愛称には、皆さんと“共に”考え、寄り添うという意味があります。

ひきこもりについて、この機会に考えてみませんか。

東郷町ひきこもりの状況 (推計)

人口: **43,928**人
15~64歳人口: **27,780**人
(R6.12月末時点)

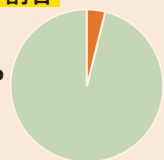
人口に占める ひきこもり状態の人の割合

15~39歳: 2.05%
40~64歳: 2.02%

(内閣府調査)

当てはめると、、、

約565人いると推計されます！



「約50人に1人」の身近なこと
「ひきこもり」と聞くと「怠けている」「努力や根性が足りない」と考える人もいるかもしれませんが、しかし、多くの当事者は「このままではいけない」「変わらなければ」と考えています。内閣府調査（※）によると、15～64歳の生産年齢人口において全国で推計146万人、約50人に1人がひきこもり状態であることが分かりました。これを東郷町の人口に単

ひきこもりとは？

様々な要因により、社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊など）を避け、概ね家庭にとどまり続けている状態。他者と交わらない形での外出はできても、社会との関係を断ち、社会的に孤立して孤独を感じる状態にある人や、様々な生きづらさを抱えている状態の人が多くいます。

原因と支援について

純に当てはめると、約565人がこの状態にあることになります。これは東郷町の小学1年生の人数（約390人）よりも多い数字です。しかし、そのうち相談に来る人はごく一部です。これだけ身近なことでありながら、周囲の目を気にするなど、自分ひとりや家庭内で悩みを抱え込みやすく、相談につながりにくい現状があるのです。

※内閣府調査：こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）

背景に何らかの精神疾患を抱えている可能性もありますが、コミュニケーションが苦手などの特性に対して、周囲からの十分な理解や配慮が得られず、学校や社会で傷つけられたことが原因に

なるケースが多いことが分かっています。そのほか、ハラスメントやいじめ、過酷な労働環境など、様々な要因がきっかけで、それまでできていたことが急にできなくなってしまうことは誰にでも起こり得ます。「ひきこもり」は病名

ひきこもり家族の会 (ID:11931)

当事者の家族が集まって、悩み相談や情報交換をする会です。家族への接し方に悩んでいる人、同じ悩みを持つ人と話したい人など、気軽にご参加ください。

日にち 毎月第2火曜日(8月は第4火曜日) **時間** 14:00~16:00

場所 3月まで
役場2階 第5会議室
4月から
役場1階 第1または第2会議室

対象 当事者のご家族 **内容** 情報交換など

参加費 無料

※事前申込不要・直接会場にお越しください。

ではなく、治療して治すものでもありません。その状況や背景は一人ひとり違います。回復には、その人の置かれてきた状況、人間関係での傷つき、社会への不安感を、周囲の皆さんが理解していくことが最も重要になります。



社会福祉士が
相談にのります！

気軽にご相談ください！

相談専用ダイヤル

平日 9:00～17:00

0561-56-0763

どうかなるさ

相談専用メールアドレス ✉ tgo-fukushi-tomoni@town.aichi-togo.lg.jp

東郷町では、相談専用ダイヤル・メールアドレスを開設しました。相談の一部をQ&A形式で紹介します。

※本人や家族の状況によっては異なる対応が必要な場合がありますので、まずはお電話ください。

Q 元気そうに見えるけど、なぜ外へ出られないの？

A 今は、エネルギーが低下した状態です。「安心・安全な環境」でしっかりと休むことができ、「理解してくれる人」が側にいれば、エネルギーは回復していき、ひきこもり状態も解消していくと言われています。

Q 怠けているだけだと思うので、早く働いてほしい。

A 怠けているわけではありません。前に進みたくても進めなくて悩んでいる人がたくさんいます。まずは、あいさつや誘いなどの声かけを、柔らかに続けてみてください。コミュニケーションの回復ができれば、家事などの日常生活、家庭外の活動へとようやく目が向けられるようになります。焦らず一歩一歩進むことが、結果的に近道の場合もあります。

Q 本人の将来が心配で…

A 本人とコミュニケーションが取れている場合は、家事などを少しずつ任せてみるといいかもしれません。お願いした作業をしてもらったら、本人が自分の役割を感じられるよう、お礼の言葉も忘れずに伝えてください。金銭的な心配については、公的な支援の種類をお伝えすることができます。「ひきこもり家族の会」へ参加して情報収集することもおおすすめです。

Q 今の状態をどうにかしたいけど、何をしたらいいかわからない。

A 焦りは禁物です。安心できる場所でゆっくりと休むことはできましたか？エネルギーが回復したら、焦らずできることから始めていきましょう。家事をしたり、散歩や買い物に出かけたりするのもいいですね。まずは「トモニ」の相談員とお話することから始めてみましょう。

Q 何年も働いていないから、いきなり働くのは不安…

A “働く”と言っても、いろんなスタイルがあります。フルタイムの正社員、短時間のアルバイトなどといった雇用形態だけでなく、仕事の内容も多岐に渡ります。自分に合った働き方や、自分の能力を活かせる仕事に就くことができると、仕事って実はとても楽しいものなんです。まずは就労ファーストステップ「ココカラ！」に参加してみてもいいかもしれません。

就労ファーストステップ ココカラ！

「人付き合いが苦手」「働きたいけどどうしたらいいのかわからない」などのお悩みはありませんか？悩みや課題を整理して、解決に向けて一緒にここから一歩踏み出してみよう！一人ひとりに合わせて、日常生活の自立や就労に向けてのプログラム、就職支援などを実施します。まずは状況をお知らせください。

日にち 3月7日(金)、21日(金)
(隔週金曜日)

時間 13:30～15:30

場所 町民会館2階 大会議室4・5、第3会議室

※開催日によって会場が異なります。
詳しくは右記二次元コードからご確認ください。

申込 ☎0561-56-0763

✉ tgo-fukushi-tomoni@town.aichi-togo.lg.jp



(ID: 11923)

詳しくは
こちら